

令和元年度 学校評価 報告書

報告日
令和2年3月17日

幼稚園名	芦屋市立宮川幼稚園
園長名	山中 朱美 印

1 今年度の重点目標

- 1 「思わず体を動かして遊びたいくなるをしつくる環境」を研究する。
- 2 幼児の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- 3 津波浸水危険区域に立地する幼稚園の防災教育の研究

2 学校評価の実施方法についての学校関係者評価

評議員会及び学校関係者評価委員会を、感染症対策のため、中止にいたしました。そのため、今年度の評価はいただいていませんが、昨年度評価していただいたものと同じ方法で行いました。

3 学校自己評価結果

(A:十分達成している B:達成している C:概ね達成している D:達成していない)

No.	分野	重点	評価項目・取組状況	達成状況	改善方策
1	教育課程	1 2	○昨年度に引き続き、運動遊びを通して幼児期の体づくりに取り組んだ。 ○運動会までは、遊具や用具を使って、視覚的にも魅力的な環境を構成し、研究テーマや、重点課題に挙げている「思わず体を動かして遊びたいくなる環境」の中で幼児が存分に体を使って遊べるようにした。 ○運動会以降は遊具や用具をできるだけ使わず、昔遊びや鬼ごっこを中心に、「子どもが集まったら遊べる」遊びに取り組んだ。 ○支援が必要な幼児や、クラスの特性を踏まえて、誰もが平等に参加できるルール、わかりやすい環境を工夫した。	B	○子どもの体力低下は否めない状況となり、就学前教育施設での運動遊びはより一層重要となってくる。「させられる」ではなく「自ら」「主体的」に取り組めるような環境づくりを意識して行う。 ○昔遊び、鬼ごっこが「伝承」されるような遊びの進め方を工夫する。 ○幼児の特性を鑑みた、クラス全体が楽しめるルールを工夫したことは評価される。今後も引き続き、この理念を引き継いで、幼児の特性をクラスの遊びに生かす支援を研究した
2	安全管理	3	○昨年度の防災教育内容の反省を生かして、今年度の計画や内容を見直した。昨年度の内容に加えて、防災遠足、防災体験ランド(PTAとの協同)、おにぎり作り、防災グッズ体験、非常食の展示、防災倉庫の見学を行った。また、浜町自治会との連携をはじめ、来年度につなぐことになった。	B	○地域(浜町自治会)との連携が一步を踏み出した。幼稚園の行事に参加してもらうことから始める。 ○昨年度と今年度で、内容が充実した。内容を整理してカリキュラムと「運動させること、発信することを講師の指導を受けてやっていきたい。

4 評価項目に係る学校関係者評価

学校自己評価結果及び改善方策についての評価
○評議員会及び学校関係者評価委員会を、感染症対策のため中止とし、今年度の評価はできていないが、体力低下を参観等で実感された評議員もおられ、運動遊びの継続は、支持されている。
○評議員会及び学校関係者評価委員会を、感染症対策のため中止とし、今年度の評価はできていないが、防災教育については、たびたび評価の言葉をいただいている。

5 総合的な学校関係者評価

評議員会及び学校関係者評価委員会を、感染症対策のため中止とし、今年度の評価はできていないが、方向性は間違っていないというご意見はいただいている。